

1. 幸田町環境基本計画について

望ましい環境像の実現に向けて、環境全般にわたる施策を展開し、今後の環境施策を推進する際の方針とします。

スローガン	望ましい環境像	取組の柱	町の施策
私がつくる 四季とふれあう美しいまち	1. 未来によりよい環境を伝えるため、積極的に行動するまち	環境教育、環境学習を進め、環境情報を共有しよう	環境教育・環境学習の機会の充実 人材の育成 環境情報の共有
	4 本の新しい樹木を みんなに	みんなで協力して環境保全活動を積極的に進めよう	環境保全活動の支援 環境保全活動の情報収集と公開
	6 安全な水とトイレを世界中に	温室効果ガス排出量を減らそう	環境負荷の少ない交通対策の推進 省資源・省エネルギー設備等の導入の促進 省エネルギー行動の普及促進 代替フロン排出抑制の推進
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	再生可能エネルギーを普及させよう	再生可能エネルギー等の導入の推進 再生可能エネルギー等の適切な導入の推進
	9 産業と雇用革新の基盤をつくらう	温暖化する気候に適応しよう 【新規】 [地域気候変動適応計画]	熱中症対策の推進 豪雨災害対策の推進 気候変動の影響に関する情報の収集
	11 住み続けられるまちづくりを	ごみの発生・排出を抑制しよう	ごみ減量に対する意識改革 ごみの減量化の推進
	12 つくもの責任	資源を再利用しよう	ごみのリサイクルの推進 ごみのリサイクルシステムの構築
	13 気候変動に具体的な対策を	ごみを適正に処理しよう	適正処理の推進 不法投棄の防止
	3. 循環型社会を構築し、資源を大切にすまち	多様な生態系を守ろう	生態系の保全 森林の保全と育成 農地の保全 水辺の保全
	8 働きがいも経済成長も	自然の保全と都市化との調和を図ろう	自然とのふれあいの場の整備 市街地緑化の推進 自然環境に配慮した開発 良好な景観の形成
	9 産業と雇用革新の基盤をつくらう	安心して生活できる環境を守ろう	公害防止対策の推進 水循環の保全 有害化学物質対策
	11 住み続けられるまちづくりを	生活環境に対するマナーを向上させよう	町民の生活環境に対するモラルの向上 事業者の生活環境に対するモラルの向上
	12 つくもの責任		
	14 海の豊かさを守ろう		
	2 気候を 涼かに		
	6 安全な水とトイレを世界中に		
	8 働きがいも経済成長も		
	11 住み続けられるまちづくりを		
	12 つくもの責任		
	15 陸の豊かさも守ろう		

注：望ましい環境像が貢献するSDGsをアイコンで示します。

令和6年度における主要な取組および変更点

●公共施設再生可能エネルギー導入可能性調査の実施
(1) 2030年度までに設置可能な公共施設の約50%以上に太陽光発電設備を導入することを目標に、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用して町内10施設における太陽光発電設備の導入可能性調査を実施した。
●包括連携協定に基づき、公共施設に電気自動車充電設備を設置
(1) 中部電力ミライズの「treev」を8施設に13基設置
●熱中症対策の推進として、町内公共施設等をクーリングシェルターに指定
(1) 令和6年度：7か所（公共施設4か所、民間施設3か所（郵便局））
(2) 令和7年度：10か所（公共施設1か所、民間施設9か所（薬局、スーパーマーケット、老人ホーム））
●民間事業者との包括連携協定に基づく出前講座による環境学習
(1) 中部電力ミライズによるSDGsと電気に関する環境学習講座
(2) 東邦ガスによる太陽光発電及び省エネに関する環境学習講座
(3) サントリーホールディングスによる水平リサイクルに関する環境学習講座
●資源循環型マットレス購入費補助金の開始
(1) 家庭向けの水平リサイクル可能なマットレス製品を購入された人に対して、補助金の交付を開始した。
●グリーン専門人材の派遣
(1) 内閣府の「地方創生人材支援制度」により、グリーン専門人材として株式会社サントリーホールディングスの内藤寛氏が企画環境推進監として着任
●町村合併70周年記念事業の実施
(1) 令和6年11月23日に、全世代向けに気候変動適応対策を主としたSDGsシンポジウムを開催（来場者181人）
●特定外来生物捕獲業務の実施
(1) 令和6年度に実施したアライグマ捕獲調査業務について、岩堀区において実施した。
●分別収集について
(1) プラスチック使用製品とプラスチック製容器包装の一括回収を開始している。
(2) 既存の乾電池の回収に加え、新たに「電池類」としてリチウム電池・ボタン電池・電子タバコなどの回収を開始している。

2. 幸田町環境基本計画に係る令和6年度施策の実績について

(1) 未来によりよい環境を伝えるため、積極的に行動するまち

主な施策	・環境教育・環境学習の機会の充実 ・環境情報の共有 ・その他各事業ごとの施策を参考
------	---

事業名	自然観察会		
施策	・生態系の保全 ・森林の保全と育成 ・水辺の保全		
開催日	事業名	内 容	参加者数
4/20	水生生物観察会	遠望峰山の不動ヶ滝園地に生息している生き物と水質の調査	16人

事業名	環境学習講座			
環境保全グループ				
施策	・省エネルギー行動の普及促進			
開催日	事業名	対象者	内 容	参加者数
6/18 6/19 7/4 7/5 9/19	SDGsと電気	小学4年生	SDGsで掲げられている17の持続可能な開発目標を紹介するとともに、エネルギーや環境に焦点を当て、児童たちがSDGsに係る取組について学ぶ。	289人 中央 96人 幸田157人 坂崎 36人
8/1	夏休み環境教室 電気をつくってためて・エネルギーの組合せについて学ぼう！	小学4～6年生	キットを使った実験を通して、暮らしの中のエネルギーや太陽光発電の仕組みについて学ぶ。	児童17人 (保護者同伴11人)
ごみ対策グループ				
施策	・ごみ減量に対する意識改革 ・適正処理の推進			
開催日	事業名	対象者	内 容	参加者数
6/17 6/27 7/1 9/10	ごみに関する出前講座	小学4年生	パワーポイント資料や動画映像を通して、小学生に対しごみの資源化、減量化及び適正処理についての意識付けを行う。 また、サントリー様よりペットボトルの水平リサイクルに関する啓発講座も行っていただいた。	248人 豊坂74人 坂崎36人 荻谷42人 中央96人

(2) ゼロカーボンシティを実現するまち

主な施策	・環境負荷の少ない交通対策の推進 ・省資源・省エネルギー設備等の導入の促進 ・再生可能エネルギー等の導入の促進 ・熱中症対策の推進 ・気候変動の影響に関する情報の収集
------	---

町民、公共施設への省エネルギー・再生可能エネルギー設備の設置経過										
公共施設への導入実績			町民への導入補助(太陽光発電)				公用車としての次世代自動車の導入状況			
分類	場所	kW	年度	件数	補助額(千円)	kW	年度	HV(台)	EV(台)	
太陽光	給食センター	10	26	130	9,948	637	平成	26	2	1
太陽光	中央小学校	10	27	95	7,217	494		27	2	1
太陽光	北部中学校	10	28	114	8,560	670		28	2	1
太陽光	幸田中学校	10	H29～R元については、 太陽光発電補助なし。 R2以降、一体的導入に係る補助事業を開始。					29	2	1
太陽光	南部中学校	10						30	2	1
太陽光	幸田中央公園	0.34					令和	1	2	1
太陽光	最終処分場	10	R2	18	1,800	104		2	3	1
太陽光	菱池保育園	10	R3	22	2,200	121		3	3	1
太陽光	保健センター	10	R4	17	2,728	87		4	3	1
太陽光	役場	31	R5	19	3,093	116		5	3	2
太陽光	消防署	20	R6	14	2,279	75	6	3	2	
太陽光	深溝小学校	10								
風力	幸田中央公園	0.06								

事業名	新エネルギーシステム設置費補助金								
一体的導入									
太陽光・HEMS・蓄電池				ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)					
件数	補助額	太陽光kW	蓄電池kW	件数	補助額	太陽光kW			
13	2,116,400	70.06	99.3	1	162,800	5.30			
太陽光・HEMS・断熱窓改修工事			太陽光・HEMS・V2H		太陽光・太陽光発電連動機能付きヒートポンプ給湯器				
件数	補助額	太陽光kW	件数	補助額	太陽光kW	件数	補助額	太陽光kW	
0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	
単独設置									
HEMS		エネファーム			蓄電池			V2H	
件数	補助額	件数	補助額	kW	件数	補助額	kW	件数	補助額
19	190,000	7	700,000	6.0	43	4,300,000	408.92	3	150,000
太陽熱利用システム(自然循環型)		太陽熱利用システム(強制循環型)							
件数	補助額	件数	補助額						
3	45,000	0	0						

事業名	緑のカーテン設置事業	
実施日	内容	
5/22～11/8	公共施設17か所及び民有施設(幼稚園)3か所の計20か所に緑のカーテンを設置。	

事業名	こうたエコスタイルキャンペーン	
開催日	内容	
5/1～10/31	令和5年度から、クールビズを軸に新たな取組として開始。 (1) 軽装、ノーネクタイの励行、TPOに応じたオフィス服装の自由化及びサステナブルファッションの積極的な実践 (2) 事務室の適正冷房温度の徹底、緑のカーテンの設置、昼休憩時間の消灯及び不使用時のパソコンの電源オフ にご協力いただくよう、町民、町議会議員及び職員に向けて周知。	

(3) 循環型社会を構築し、資源を大切にすまち

主な施策	・ごみの減量に対する意識改革 ・ごみの減量化の推進 ・ごみのリサイクルの推進 ・ごみのリサイクルシステムの構築 ・省資源・省エネルギー設備等の導入の促進 ・再生可能エネルギー等の導入の促進
------	---

事業名 剪定枝チップ化						
年度	件数	内訳			処理台数	
		シルバー処理 ^{※1} (台)	個人持込 ^{※2} (台)	現地処理 ^{※3} (台)	軽トラック換算(台)	
平成	25	597	543	41	13	1,003
	26	592	530	47	15	1,023
	27	606	547	43	16	1,037
	28	685	639	37	9	1,075
	29	640	602	34	4	1,066
	30	727	688	35	3	1,142
令和	1	717	671	43	3	1,077
	2	674	631	41	2	1,013
	3	663	618	44	1	1,086
	4	643	610	33	0	993
	5	657	616	41	0	981.2
	6	636	593	43	2	1,079
^{※1} シルバー処理とは・・・シルバーの会員が剪定枝をチップ場で処理すること ^{※2} 個人持込とは・・・町民が自分の庭木等をチップ場へ持ち込むこと ^{※3} 現地処理とは・・・現地でチップ化作業(処理)を行うこと						

事業名 フードドライブ										
開催日	人数(人)	米、もち(kg)	缶詰(kg)	ビン詰(kg)	乾物(kg)	レトルト(kg)	調味料(kg)	飲料(kg)	お菓子(kg)	その他(kg)
通年	47	22.05	2.94	1.2	8.61	10.011	20.771	25.28	12.444	14.963

事業名 使用済み食用油の再生燃料化			
開催日	対象	内容	実績
通年	公共施設、スーパー	対象施設で出た使用済み食用油の回収	11.49t

事業名 生ごみたい肥化事業							
年度		自家処理の推進(生ごみ処理器補助金)			共同処理の推進		
		コンポスト	電気式	補助額(千円)	里(kg)	逆川(kg)	生ごみ投入量(kg)
平成	25	27	16	485	4,398	-	4,398
	26	11	22	610	4,247	-	4,247
	27	12	16	452	4,027	-	4,027
	28	9	13	392	3,892	-	3,892
	29	4	16	455	3,591	-	3,591
	30	10	24	649	3,615	-	3,615
令和	1	9	13	356	3,399	-	3,399
	2	11	21	518	3,279	-	3,279
	3	14	24	539	3,379	-	3,379
	4	19	22	577	2,461	-	2,461
	5	13	23	716	2,154	-	2,154
	6	12	34	1,120	1,902	-	1,902
備考		購入金額の1/2補助 限度額:コンポスト6千円、電気式5万円 ※電気式の限度額は令和5年4月1日から要綱改正により 3万円から5万円に引き上げ。			生ごみの投入、処理機の管理は区が行う 区内の希望者に堆肥を配布		

事業名	ごみの資源化、減量化及び適正回収に関する周知・啓発	
開催日	事業名	内容
通年	ごみ出しマナー向上カメラの設置	地元区長の依頼等により、ごみステーションや不法投棄の多い場所にカメラを設置。令和6年度申請件数は28件。
通年	広報こうた掲載	(1) 幸田町生ごみ処理容器等設置費補助金の制度紹介(4,6,11月号) (2) 職員による燃やすごみ袋開封調査結果(7,2月号) (3) 食品ロス削減推進(4,10月号) (4) 分別についての周知徹底(6,8,10月号) (5) ごみ・ペットボトル水平リサイクルに関する環境学習講座の実績周知(9,11,1月号) (6) 家庭ごみの分け方出し方内容変更周知(9月号) (7) 年末年始の燃やすごみ・資源物等収集日程周知(12月号) (8) 産業まつりリユース品抽選販売会の結果報告(1月号)

その他施策に関連する事業	
事業名	内容
ペットボトルの水平リサイクルに関する協定	町内の家庭から排出される使用済みペットボトルを新たなペットボトルに生まれ変わらせる(ボトルtoボトル)事業について、令和5年10月17日に豊田通商㈱及びサントリーホールディングス㈱と協定を締結(令和6年4月1日からペットボトル全量を水平リサイクル開始)。
プラスチック使用製品とプラスチック製容器包装の一括回収を開始	「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック資源循環促進法)」が令和4年4月1日に施行されたことにより、町内から排出されるプラスチック使用製品とプラスチック製容器包装の一括回収を開始している。
電池類の回収開始	乾電池のみの回収から新たに「電池類」としてリチウム電池・ボタン電池・電子タバコなどの回収を開始している。

(4) さまざまな生き物が住む豊かな自然に恵まれ、自然とふれあうことができるまち

主な施策	・生態系の保全 ・農地の保全 ・自然とのふれあいの場の整備
------	---

事業名	アライグマ捕獲調査業務	
業務期間	対象	内容
10/28～12/27	岩堀区	地元行政区からの要望及び協力により、生息実態の把握及び捕獲調査を目的として実施し、アライグマ5頭、ハクビシン1頭捕獲。

施策に関連する他課の事業	
担当課	産業振興課
事業名	内容または実績
親子食育農業体験教室	親子食育農業体験教室を計6回実施。
農地管理の適正依頼	農地の管理について、不適正である土地の所有者に対し適正管理を依頼。令和6年度実績は193件。
有害鳥獣捕獲業務	幸田町猟友会へ委託し、年間を通して実施。

(5) きれいな空気と水のなかで、環境のことを考えた暮らしやすいまち

主な施策	・公害防止対策の推進 ・水循環の保全 ・町民の生活環境に対するモラルの向上
------	---

事業名	環境測定業務
業務期間	内容
通年	大気、河川、工場排水、地下水、騒音、農業に関して、環境汚染の未然防止等を行うために町内各所を測定・監視する。

事業名	あき地の適正管理依頼	
実施期間	内容	
通年	幸田町あき地の環境保全に関する条例により、あき地の適正管理を土地所有者に依頼。	

事業名	町民総参加クリーン運動		
基準日	内容	参加者数	実績
春:6/2 秋:9/8	基準日を参考に、各行政区ごとに地域住民でゴミ拾いを実施。	春:6,884人	春:2,971kg
		秋:7,205人	秋:2,231kg

施策に関連する他課の事業	
担当課	下水道課
事業名	内容または実績
雨水貯留施設設置補助金	雨水貯留槽、雨水浸透ます及び透水性舗装を設置する方に対する補助金。令和6年度実績は3件。

3. [参考]令和7年度取組進捗状況

1.未来によりよい環境を伝えるため、積極的に行動するまち

●環境教育・環境学習の機会の充実

【自然観察会】

- ・水生生物観察会(8月)に実施予定

【環境学習講座】

- ・町内小学校4年生を対象として中部電力ミライズによるSDGsと電気に関する環境学習講座を実施。

6月:中央小学校、幸田小学校

- ・東邦ガス株式会社包括連携協定事業による出前講座を8月に実施予定。

- ・株式会社サントリーホールディングスによるペットボトルの水平リサイクルに関する啓発授業を実施。

6月:豊坂小学校

中央小学校

荻谷小学校

●人材の育成

- ・内閣府の「地方創生人材支援制度」により、グリーン専門人材として株式会社サントリーホールディングスの内藤寛氏が令和6年度より派遣されています。

2.ゼロカーボンシティを実現するまち

●環境負荷の少ない交通対策の推進

【充電ステーションの設置の促進】

- ・包括連携協定に基づき、令和6年度に充電設備の導入済。

●省資源・省エネルギー設備等の導入の促進

【地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の一部改定業務】

- ・R6に実施した公共施設の太陽光パネル導入促進事業による調査結果を、本町における地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に反映させる。

●省エネルギー行動の普及促進

【緑のカーテン設置事業】

- ・町内20施設で緑のカーテンの実施。

●再生可能エネルギー等の導入の促進

【新エネルギーシステム設置費補助金の申請数(7月18日現在)】

一体的導入(太陽光・HEMS・蓄電池):5件

一体的導入(ZEH):4件

HEMS:4件

蓄電池:17件

太陽熱利用システム:2件

【次世代自動車購入費補助金の申請数(7月18日現在)の補助件数】

次世代自動車:10件(EV(軽自動車):2件、EV(軽自動車以外):2件、PHEV:6件)

●熱中症対策の推進

【気候変動適応対策関係】

- ・こうたエコスタイルキャンペーンの実施。

- ・熱中症対策の推進として、昨年度に引き続き新たに公共施設1カ所、民間施設9カ所を追加で指定済。

3.循環型社会を構築し、資源を大切にすまち

●ごみ減量に対する意識改革

- ・ごみ出しマナー向上カメラの設置申請件数:7件(7/29現在)

- ・燃やすごみ袋の開封調査の結果等、資源化及び減量化に関する啓発記事を広報こうたに掲載。

●ごみの減量化の推進

- ・地元区への剪定枝粉碎機の貸出を実施。

- ・フードドライブを毎週月曜日から金曜日(祝日除く)に幸田町役場2階環境課窓口で実施。

●ごみのリサイクルの推進

- ・使用済み食用油の再生燃料化。

- ・生ごみ処理容器等設置費補助金申請件数:38件(6/24でR7年度分の予算終了)

- ・生ごみたい肥化共同処理(里区)を実施。

●ごみのリサイクルシステムの構築

- ・ペットボトルの水平リサイクルを開始している。

- ・資源循環型マットレス購入費補助金申請件数:12件(7/29現在)

●適正処理の推進

- ・不適正排出に関する記事を広報こうたに掲載。

●不法投棄の防止

- ・クリーンパトロールによる町内の巡回、不法投棄物の回収。

- ・不法投棄に関する記事を広報こうたに掲載。

4.さまざまな生き物が住む豊かな自然に恵まれ、自然とふれあうことができるまち

●生態系の保全

【アライグマ捕獲調査業務】

- ・現在、地元区からの要望はなし

●農地の保全

- ・親子農業食育体験教室を5月と6月実施。次回は8月に1回、10月に2回、11月に1回実施予定。

- ・農地管理の適正依頼件数:2件

- ・有害鳥獣捕獲業務を幸田町猟友会へ委託し年間通して実施中。

●水辺の保全

- ・流域モニタリング調査を8月に実施予定。

●良好な景観の形成

- ・文化財ウォーキングを5月に実施。10月に実施予定。

5.きれいな空気と水のなかで、環境のことを考えた暮らしやすいまち

●公害防止対策の推進

【環境測定業務】

大気調査…夏季:7月実施済み。 冬季:1月実施予定。

河川調査…夏季:7月実施済み。 冬季:11月実施予定。

工場・事業所排水調査…9月実施予定。

地下水調査…10月実施予定。

農薬調査…11月実施予定。

騒音調査…12月実施予定。

●水循環の保全

・雨水貯留浸透施設設置補助金制度の実施:2件

●町民の生活環境に対するモラルの向上

・近隣の迷惑になる野焼き防止の指導:2件(7/30時点)

・犬の糞禁止看板の配布:3件(7/30時点)

・あき地の適正管理依頼件数:7件(7/30時点)

【町民総参加クリーン運動】

春:各区実施済み。

秋:7月区長会で各区長に実施依頼済み。

※R7年度より熱中症対策による基準日を設けずに各区で実施いただいた。